

報告第 2 号

専決処分した事件の報告について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条第 1 項の規定に基づき、和解について次のとおり専決処分したので、同条第 2 項の規定により報告する。

令和 8 年 2 月 19 日

提出者 足立区長 近 藤 弥 生

## 専決処分書

令和 6 年 1 0 月 7 日に発生した自転車交通事故に関する和解について、  
地方自治法第 1 8 0 条第 1 項の規定により、次のとおり専決処分する。

令和 8 年 1 月 1 5 日

足立区長      近   藤   弥   生

## 自転車交通事故に係る損害賠償請求に関する和解について

足立区は、令和6年10月7日に発生した自転車同士の衝突事故について、下記のとおり和解する。

### 記

#### 1 相手方

足立区青井在住者

#### 2 和解の内容

示談書のとおり

示 談 書

足立区（以下「甲」という。）及びA（以下「乙」という。）は、以下の事故（以下「本件事故」という。）に関し、次のとおり合意したので、示談書を作成する（以下「本合意」という。）。

## 1 事故の内容

- (1) 事故発生日時 令和6年10月7日(月曜日)午後2時50分  
(2) 事故の場所 東京都足立区栗原2-6-14付近角  
(3) 事故の原因状況結果

甲の職員が職務で訪問したUR都市機構栗原団地14号棟から自転車で在勤庁へ帰庁する際、携帯電話地図アプリで現在地を確認するため丁字路手前で一旦停車し、確認後、発車した。自転車を1～2漕ぎし、丁字路を左折しようとしたところ、左方面から乙の運転する自転車が直進しようとして双方の衝突事故が発生した。衝突後、甲の職員の自転車は右側に横転。乙は自身の自転車前輪に覆いかぶさる形で転倒した。甲の職員は右股関節・右膝関節の捻挫、乙は右肩関節・胸部・左示指・右大腿の打撲を負った。

## 2 示談の内容

- (1) 甲は、乙に対し、本件事故の損害賠償金として583,512円の支払義務があることを認める。
- (2) (1)の金額は甲が保険契約に加入する損害保険ジャパン(株)から乙が指定する口座に振り込む方法で支払う。
- (3) 甲及び乙は、甲及び乙の間には、本件事故に関し、この示談に定めるもののほか、何ら債権債務がないことを相互に確認し、甲及び乙は相手方に対して、今後名目を問わず、本件事故に基づく損害として何らの請求をしない。

本合意成立の証として本書2通を作成し、甲乙双方記名捺印の上、各々その一通を保有する。

令和8年1月15日

第一当事者 (甲) (住所) 東京都足立区中央本町一丁目 17 番 1 号

(氏名) 足立区長 近 藤 弥 生 印

第二当事者 (乙) (住所) \_\_\_\_\_

(氏名) \_\_\_\_\_ 印